

令和元年11月13日

観光文教委員会報告資料

教育部 教育支援・相談課

平成26年度～平成30年度の不登校児童生徒の状況について

(人)

		小学校 不登校 児童数	1,000人当たりの 不登校児童数	中学校 不登校 生徒数	1,000人当たりの 不登校生徒数	小中合計	1,000人当たりの 不登校児童生徒数
平成26年度	奈良市	108	6.6	359	42.8	467	18.8
	奈良県	353	4.8	1,207	29.5	1,560	13.7
	全国	25,864	3.9	97,033	27.6	122,897	12.1
平成27年度	奈良市	100	6.2	325	39.3	425	17.5
	奈良県	339	4.7	1,094	27.4	1,433	12.8
	全国	27,583	4.2	98,408	28.3	125,991	12.6
平成28年度	奈良市	86	5.4	295	36.9	381	15.9
	奈良県	274	3.9	1,016	25.9	1,290	11.7
	全国	30,448	4.7	103,235	30.1	133,683	13.5
平成29年度	奈良市	92	5.8	250	32.5	342	14.5
	奈良県	324	4.6	1,086	28.4	1,410	13.0
	全国	35,032	5.4	108,999	32.5	144,031	14.7
平成30年度	奈良市	95	6.1	282	37.9	377	16.3
	奈良県	428	6.2	1,243	33.3	1,671	15.7
	全国	44,841	7.0	119,687	36.5	164,528	16.9

◎平成30年度の本市の小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が6.1人(前年度比0.3ポイント増)、中学校が37.9人(前年度比5.4ポイント増)、小・中学校合わせて16.3人(前年度比1.8人増)であった。なお、全国の小・中学校における児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は16.9人(前年度比2.2ポイント増)、奈良県の小・中学校における児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は、15.7人(前年度比2.7ポイント増)であった。

《不登校への対応》

○「不登校対策の手引き」による啓発及び研修

- ・月例報告を欠席累計30日以上から、15日以上の子童生徒を報告することに変更し、各学校の意識改善を図り、不登校の「早期発見・早期対応」を促している。
- ・欠席種別の適切な見立てと、不登校の積極的な認知の推進により、個々の児童生徒の状況に応じた適切な対応と支援につなげている。
- ・新たな不登校を生まないための「未然防止」の取組として「魅力ある学校づくり」「絆でつながる仲間づくり」について周知啓発を行っている。

○スクールカウンセラーの拡充・全校配置(小学校43校、中学校21校、高等学校1校)

○不登校対応カウンセラーの設置

- ・各学校に訪問を行い、不登校の実態把握と適切な指導・助言を行い、校内の支援体制構築を推進している。